



島根県水産技術センター 令和元年6月3日発行
トビウオ通信 漁況速報 (4月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

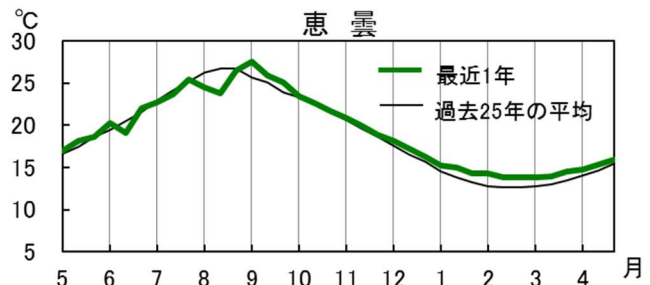
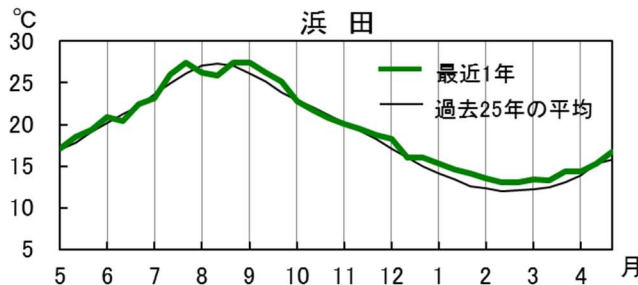
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《3～4月の海況》

3月	月平均	平年差	評価
浜田	13.7℃	+1.1℃	はなはだ高め
恵曇	14.0℃	+0.9℃	かなり高め

沿岸定地水温は、浜田地区では、3月は上旬、下旬は「はなはだ高め」となり中旬は「かなり高め」となっています。4月に入り上旬時点で「やや高め」で経過しています。恵曇地区では、3月上旬、下旬は「はなはだ高め」となり中旬は「かなり高め」となっています。4月に入り上旬時点で「やや高め」で経過しています。



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は7.2トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は26トン、マアジは16トンでいずれも平年の1割に留まりました。隠岐地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は36トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ウルメイワシが豊漁で1,624トンと平年の6倍となりました。一方で、昨年豊漁だったサバ類は507トンで平年の1割、マアジは807トンで平年の3割に留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は418kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)の水揚げはありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、エソ類、カワハギ類を主体に、1統1航海当たりの漁獲量は15.8トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、キダイは平年の1.9倍、エソ類は平年の4.2倍、カワハギ類は平年並みの水揚げでした。その他、アカムツは平年の1.6倍、ケンサキイカは平年の2.0倍の水揚げだった一方、マフグは平年の5割、ソウハチ、ムシガレイは平年の7割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではヒレグロ、ソウハチ、アカガレイ主体の漁況で、総漁獲量は195トンで平年の4割、1統1航海当たりの漁獲量は705kgで平年の8割でした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒレグロは平年の3割、ソウハチは平年の4割、アカガレイは平年の4割、ニギスは平年の7割だった一方、ケンサキイカは平年の1.6倍と好調でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、サワラ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は6.8トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の3.7倍、サワラは平年の6割の漁獲量でした。石見地区ではマアジ、サワラ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は5.9トンで平年並みでした。魚種別の動向ではマアジは平年の1.7倍、サワラ類は平年の3割の漁獲量でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は12.1トンで平年並みでした。魚種別の動向ではブリは平年の7倍、スルメイカは平年の5割の漁獲量でした。

【釣・罾】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は44kgで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の8割の漁獲量でした。石見地区ではブリ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26kgで平年並みでした。魚種別の動向は、ブリが平年の1.3倍、アマダイが平年の1.2倍の漁獲量でした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20kgで平年を下回りました。魚種別の動向は、カサゴ・メバル類が平年の7割、ブリが平年の3割の漁獲量でした。

【平成 31 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	43トン	9%	6.7%	7.2トン	16%	21%	▲
	隠岐	サバ類、マアジ、ウルメイワシ	3,012トン	48%	30.6%	36トン	33%	36%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	4トン	9%	6%	418kg	67%	76%	▲
	西郷	—	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、エソ類、カワハギ類	364トン	124%	105%	15.8トン	162%	118%	◎
小型 底びき網	大田	ヒレグロ、ソウハチ、アカガレイ	195トン	57%	43%	705kg	87%	79%	▲
定置網 (大型)	出雲	ブリ、サワラ類	61トン	51%	73%	6.8トン	39%	73%	○
	石見	マアジ、サワラ類	18トン	38%	69%	5.9トン	38%	69%	○
	隠岐	ブリ、スルメイカ	29トン	81%	87%	12.1トン	81%	118%	○
釣り・縄	出雲	ブリ	43トン	151%	75%	44kg	151%	75%	◎
	石見	ブリ、アマダイ	21トン	100%	64%	26kg	121%	110%	○
	隠岐	カサゴ・メバル類、ブリ	12トン	107%	58%	20kg	87%	74%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。